平成25年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年２月４日

上場会社名　株式会社エフ・ジェー・ネクスト　上場取引所　東
コード番号　8935　ＵＲＬ　http://www.fjnext.com
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）肥田　幸春
問合せ先責任者　（役職名）取締役 管理本部長 兼 経営企画室長　（氏名）永井　敦　ＴＥＬ　03-6733-7711

四半期報告書提出予定日　平成25年２月13日　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成25年３月期第３四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年12月31日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第３四半期	22,136	0.9	2,588	△10.9	2,532	△10.2	1,459	5.0
24年３月期第３四半期	21,941	32.3	2,905	528.9	2,819	687.0	1,389	－

（注）包括利益　25年３月期第３四半期　1,471百万円（5.4%）　24年３月期第３四半期　1,396百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第３四半期	93.77	－
24年３月期第３四半期	89.31	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第３四半期	31,045	19,357	62.4
24年３月期	31,804	18,134	57.0

（参考）自己資本　25年３月期第３四半期　19,357百万円　24年３月期　18,134百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	－	5.00	－	9.00	14.00
25年３月期	－	7.00	－		
25年３月期（予想）				7.00	14.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無
平成24年３月期末配当金の内訳　普通配当７円00銭　特別配当２円00銭

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,000	1.5	2,700	△35.9	2,600	△36.5	1,300	△39.1	83.53

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無
新規　－社　（社名）－、除外　－社　（社名）－

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：	有
②　①以外の会計方針の変更	：	無
③　会計上の見積りの変更	：	有
④　修正再表示	：	無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の５に該当するものであります。詳細は、添付資料P.３「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期３Ｑ	16,098,250株	24年３月期	16,098,250株
②　期末自己株式数	25年３月期３Ｑ	535,400株	24年３月期	535,400株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期３Ｑ	15,562,850株	24年３月期３Ｑ	15,562,850株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料のP３「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等を背景に緩やかな景気回復がみられるものの、欧州政府債務危機を背景とする海外景気の下振れ懸念等により、国内景気がさらに下押しされるリスクも存在し、依然として不透明な状況が続いております。

不動産業界におきましては、平成24年12月度の首都圏におけるマンションの新規供給戸数が前年同月比3.0%の減少となるなど年末に向けて失速した結果、平成24年の年間供給戸数は４万5,602戸（前年比2.5%増）となり、前年並みに留まりました（株式会社不動産経済研究所調べ）。

当社グループの主要事業領域である資産運用型分譲マンション市場におきましては、景気低迷に伴う所得環境の悪化の影響は見られるものの、単身者を中心とした東京圏の賃貸需要は堅調であり、購入需要についても、安定した収益が期待できる運用商品として認知度が高まり、低金利にも後押しされ、堅調な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは、首都圏において、資産運用として多彩なメリットを提供する「ガーラマンションシリーズ」の開発・販売の拡大、顧客サポート体制の充実、ブランド力の強化を図ってまいりました。また、中古マンション売買の拡充、ファミリーマンションの開発・販売にも積極的に取り組むとともに、販売費及び一般管理費の抑制を進め、グループ企業価値の向上に全力を尽くしてまいりました。

こうした結果、当第３四半期連結累計期間は、売上高221億36百万円（前年同四半期比0.9%増）、営業利益25億88百万円（前年同四半期比10.9%減）、経常利益25億32百万円（前年同四半期比10.2%減）、四半期純利益14億59百万円（前年同四半期比5.0%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（不動産開発事業）

不動産開発事業におきましては、自社ブランド「ガーラマンションシリーズ」を積極的に営業展開するとともに、中古マンション245戸を販売した結果、ワンルームマンション売上高141億41百万円（745戸）、ファミリーマンション売上高29億23百万円（94戸）、その他収入26億62百万円となり、不動産開発事業の合計売上高197億26百万円（前年同四半期比1.2%減）、セグメント利益22億20百万円（前年同四半期比11.4%減）となりました。

（不動産管理事業）

不動産管理事業は、管理物件の増加等により、売上高12億３百万円（前年同四半期比9.4%増）、セグメント利益４億30百万円（前年同四半期比8.9%増）となりました。

（建設事業）

建設事業は、受注環境が厳しく、売上高は９億41百万円（前年同四半期比44.8%増）に留まった結果、セグメント損失26百万円（前年同四半期は16百万円の損失）となりました。

（旅館事業）

旅館事業は、売上高２億64百万円（前年同四半期比15.1%増）となったものの、本年７月に取得し、９月に開業した新規旅館の開業準備費用等が発生した結果、セグメント損失39百万円（前年同四半期は７百万円の損失）となりました。

なお、当社グループの主力事業である不動産開発事業におけるマンション販売は、顧客への物件引渡しをもって売上が計上されます。そのため、物件の竣工や引渡しのタイミングにより四半期ごとの業績に偏重が生じる傾向があります。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における流動資産は280億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億42百万円減少いたしました。これは主に仕掛販売用不動産が13億67百万円、受取手形及び営業未収入金が６億51百万円増加した一方、現金及び預金が13億49百万円、販売用不動産が17億66百万円減少したことによるものであります。固定資産は29億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ２億83百万円増加いたしました。これは投資その他の資産が１億67百万円、有形固定資産が90百万円、無形固定資産が25百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は310億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ７億58百万円減少いたしました。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における流動負債は46億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ36億20百万円減少いたしました。これは主に１年内返済予定の長期借入金が14億33百万円、未払金が１億37百万円、未払法人税等が10億19百万円減少したことによるものであります。固定負債は70億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億38百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が16億79百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、116億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億81百万円減少いたしました。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産合計は193億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億22百万円増加いたしました。主な増加は四半期純利益14億59百万円であり、減少は剰余金の配当２億49百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は62.4％（前連結会計年度末は57.0％）となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間において、平成24年５月11日公表の通期業績予想の営業利益、経常利益、当期純利益を概ね達成しておりますが、経営環境が不透明であること等を踏まえ、現時点において通期業績予想に変更はありません。今後の業績推移等によって通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更が損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,411,451	10,061,844
受取手形及び営業未収入金	665,281	1,316,477
有価証券	5,606	2,964
販売用不動産	6,684,834	4,918,093
仕掛販売用不動産	9,622,722	10,990,610
未成工事支出金	12,653	33,184
原材料及び貯蔵品	16,730	14,960
前渡金	75,800	123,123
繰延税金資産	380,870	331,291
その他	253,468	293,698
貸倒引当金	△5,515	△4,984
流動資産合計	29,123,903	28,081,262
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	854,596	903,278
減価償却累計額	△335,096	△376,514
建物及び構築物（純額）	519,499	526,764
土地	389,857	478,017
その他	242,377	247,346
減価償却累計額	△184,546	△194,824
その他（純額）	57,830	52,521
有形固定資産合計	967,188	1,057,304
無形固定資産	70,824	96,668
投資その他の資産		
投資有価証券	170,663	217,722
繰延税金資産	424,709	406,157
その他	1,057,756	1,196,842
貸倒引当金	△10,843	△10,693
投資その他の資産合計	1,642,285	1,810,029
固定資産合計	2,680,298	2,964,002
資産合計	31,804,201	31,045,265

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,258,790	259,970
1年内返済予定の長期借入金	3,244,000	1,811,000
未払金	387,886	250,693
未払法人税等	1,409,075	389,367
未払消費税等	213,274	103,400
預り金	1,256,247	1,266,741
賞与引当金	114,232	138,712
その他	352,135	395,748
流動負債合計	8,235,641	4,615,634
固定負債		
長期借入金	2,868,000	4,547,000
退職給付引当金	242,978	243,650
役員退職慰労引当金	614,830	638,260
長期預り敷金保証金	1,618,681	1,560,219
長期預り金	86,646	82,053
その他	2,551	708
固定負債合計	5,433,687	7,071,891
負債合計	13,669,328	11,687,526
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,858,970	1,858,970
資本剰余金	2,345,801	2,345,801
利益剰余金	14,160,040	15,370,287
自己株式	△232,351	△232,351
株主資本合計	18,132,460	19,342,707
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,412	15,030
その他の包括利益累計額合計	2,412	15,030
純資産合計	18,134,873	19,357,738
負債純資産合計	31,804,201	31,045,265

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	21,941,421	22,136,481
売上原価	15,323,619	15,650,907
売上総利益	6,617,802	6,485,574
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	375,858	358,186
給料手当及び賞与	1,341,970	1,366,889
賞与引当金繰入額	132,635	142,995
退職給付費用	36,218	34,708
役員退職慰労引当金繰入額	20,460	23,430
その他	1,805,655	1,970,442
販売費及び一般管理費合計	3,712,798	3,896,651
営業利益	2,905,004	2,588,922
営業外収益		
受取利息	1,694	4,489
受取配当金	4,036	1,583
違約金収入	1,360	7,499
その他	11,495	9,907
営業外収益合計	18,586	23,480
営業外費用		
支払利息	101,299	68,669
その他	3,160	11,487
営業外費用合計	104,460	80,157
経常利益	2,819,130	2,532,245
特別利益		
受取補償金	－	6,018
特別利益合計	－	6,018
特別損失		
固定資産売却損	－	55
固定資産除却損	184	74
投資有価証券評価損	24,950	－
会員権評価損	－	3,250
特別損失合計	25,134	3,380
税金等調整前四半期純利益	2,793,995	2,534,883
法人税、住民税及び事業税	1,430,724	1,014,487
法人税等調整額	△26,650	61,143
法人税等合計	1,404,074	1,075,630
少数株主損益調整前四半期純利益	1,389,921	1,459,252
四半期純利益	1,389,921	1,459,252

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,389,921	1,459,252
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,694	12,618
その他の包括利益合計	6,694	12,618
四半期包括利益	1,396,616	1,471,871
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,396,616	1,471,871
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（3）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（5）セグメント情報等
（セグメント情報）
Ⅰ 前第３四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年12月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	不動産開発事業	不動産管理事業	建設事業	旅館事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	19,961,361	1,099,948	650,276	229,834	21,941,421	－	21,941,421
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,859	197,573	588,210	4,286	794,931	△794,931	－
計	19,966,221	1,297,522	1,238,486	234,121	22,736,352	△794,931	21,941,421
セグメント利益又はセグメント損失（△）	2,504,796	394,780	△16,062	△7,515	2,875,998	29,005	2,905,004

（注）１．セグメント利益又はセグメント損失の調整額29,005千円には、セグメント間取引消去25,410千円、たな卸資産及び固定資産の調整額3,595千円が含まれております。
２．セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第３四半期連結累計期間（自平成24年４月１日 至平成24年12月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	不動産開発事業	不動産管理事業	建設事業	旅館事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	19,726,886	1,203,328	941,753	264,514	22,136,481	－	22,136,481
セグメント間の内部売上高又は振替高	10,039	219,760	470,726	5,140	705,666	△705,666	－
計	19,736,925	1,423,088	1,412,479	269,654	22,842,148	△705,666	22,136,481
セグメント利益又はセグメント損失（△）	2,220,086	430,077	△26,565	△39,003	2,584,594	4,327	2,588,922

（注）１．セグメント利益又はセグメント損失の調整額4,327千円には、セグメント間取引消去26,020千円、たな卸資産及び固定資産の調整額△21,692千円が含まれております。
２．セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。